

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

当所では、主要3指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成を最重要と位置づけ、求職者・求人者及び雇用保険受給者に対し以下の取組を実施しました。

#### ①「就職件数」

就職件数については、ひとりでも多くの求職者が納得できる就職を実現できるよう、求職者一人ひとりの態様・ニーズに応じたきめ細やかな就職支援を実施しました。具体的には求職者担当者制による個別支援により、求職者の自己理解、職業理解、職務の棚卸し、履歴書・職務経歴書の作成支援、面接対策等、求職者が抱える課題解決に必要とされている支援を的確に実施しました。一方で、求人の確保に向けて求人開拓を積極的に行い、また、既存求人に対しては、求職者が応募したいと思う求人にするため求人条件緩和に向けた指導・助言を積極的に行うことにより、良質求人の確保に取り組みました。当所の実情として、有効求職者に占める女性や45歳以上の中高年齢者の割合が高く、比較的短時間の仕事を希望している求職者が多いことから、これらの求職者が希望するパート等の比較的短時間勤務の求人を確保するための求人開拓を積極的に行い、既存求人については、勤務時間や仕事内容の切り出し等、労働条件緩和にも積極的に取り組み、地域の実情に対応した就職支援に積極的に取り組みました。

#### ②「充足件数」

求人の充足については、早期の人材確保が企業における円滑な事業運営に必要不可欠であることを職員・相談員ひとり一人が認識し、早期に求人が充足できるよう、「求人担当者制」及び「求人充足検討会議」により、積極的に求人充足に向けた支援に取り組みました。紹介担当者においては、早期かつ短期集中的に応募者を確保するため、比較的条件が良い求人条件で、ハローワークによる積極的な情報提供により充足の可能性が高まる求人を「短期集中支援求人」と銘打って、求職者に対しダイレクトメールや窓口での情報提供を行うことにより応募者確保に取り組みました。そのほか、特に求人充足が深刻な課題となっている、いわゆる「人材不足分野」と言われる「医療・福祉分野」の業種については、「企業説明会」による求職者に対する企業および仕事理解の機会提供、「事業所PRボード」による求職者への企業アピールを積極的に行い、求職者に対して人材不足分野求人への応募意欲喚起を行いました。

#### ③「雇用保険受給者の早期再就職件数」

雇用保険受給者については、ひとり一人の就職の緊要度を把握したうえで、失業認定日における全員職業相談を実施し、早期再就職のメリットを説明しながら求人情報提供を行い、早期再就職への意欲喚起を図りました。また、早期再就職を希望している緊要度の高い雇用保険受給者に対しては、積極的に個別支援対象者として求職者担当者制による早期再就職支援に取り組みました。

## (2) 前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

### ①求人事業所の企業PR機会の提供サービス

早期の求人充足及び有効求人への質向上、求人充足サービスの一環として、所内においては求人事業所の会社説明会を実施しました。この説明会により、求職者にとっては職業理解及び企業理解が促進され、また、求人者にとっては、直接、求職者が求人選別の際に何に重きを置いて就職活動しているのかを知り得る貴重な機会となっています。この取組により、求人者と求職者間の雇用のミスマッチの解消に繋がるよう努めました。また、企業説明会実施にあたっては、「就活応援カレンダー」（事業所説明会等のイベントを記載したカレンダー）を作成し、庁舎内掲示や当所ホームページへの掲載を行い、求職者に対して広く周知することにより多くの求職者の参加につながりました。

### ②求職者に対する柔軟な求人情報の提供サービス

当所独自の求人情報誌「求メール」を毎月2回作成し、管内12か所への配架や管内2市ホームページへの掲載など求職者に対し幅広く提供しました。閉庁日に求職者が手軽に求人情報を収集できるよう、庁舎玄関外側にも求人情報誌提供台を設置しています。また、雇用保険受給者に対しては、新たに認定会場内に求人掲示板を設置したほか、認定日来所者向け専用求人情報誌を作成のうえ配布するなど、認定時の待ち時間を有効活用できるよう、求人情報の提供を積極的に行いました。

## (3) その他の業務運営についての分析等

①当所の管轄地域が鹿児島県の中心地である鹿児島市に隣接しており、交通インフラが整備され比較的容易に通勤できる距離となっていることから、紹介就職者の約4割が管外事業所へ就職する状況にあります。このため、求職者に対して管内事業所へ目を向けてもらうよう、待合室内に管内事業所ごとの会社案内や事業所訪問時に得られた情報をファイリング化し配架した「管内事業所情報コーナー」から地元企業をPRするほか、求人票についても求職者が興味をもち応募したくなるよう記載内容の充実を図り、フロア内の求職者の目につく場所に掲示するなど、管内求人の魅力を求職者にアピールしたうえで、引き続き、求職者に対し管内企業への応募意欲の喚起を図っていく必要があると考えています。

②少子・高齢化、若年者の県外流出の影響もあり、管内の求職者は特に若者が減少傾向で推移しています。その一方で、求職者に占める45歳以上の中高年齢者の割合が過半数を超えており、軽作業を希望する求職者が多くなっています。しかし、求人については比較的体力を要する職種が多く、仕事を探しても応募したいと思う求人が見つからないという声も聞かれることから、当所においては、求職者ニーズを踏まえた求人の開拓の強化に積極的に取り組み、併せて、既存の求人に対しては、求人条件緩和の要請を積極的に行っていく必要があると考えています。また、求職者に対しては、個別支援による職務経験の棚卸から見えてくる「自己理解」、「職業理解」の推進に力を入れ、また、就職にあたり経験や資格・技能が不足している求職者に対しては、公共職業訓練や求職者支援訓練などの職業訓練への誘導を積極的に行い、就職に必要とされる「資格・技能」の習得につなげたうえで、応募できる求人の選択肢を増やしていけるよう取り組んでいく必要があると考えています。

#### (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

①令和5年度の管内の有効求人倍率は0.91倍であり、令和4年度の0.96倍に続き1倍を下回る状況となり、求職者数に対して求人数が大幅に不足しています。また、求人自体も求職者の希望する職種や労働条件に一致しないことで、求職者は就職がなかなか決まらない状況が続いており、求人は応募者がなかなか集まらないという「ミスマッチ」が非常に顕著な地域となっております。そのことを踏まえ、令和6年度においても求人と求職のマッチング支援に積極的に取り組むこととし、具体的には、求職者ニーズに合った職業紹介を進めるとともに、求職者担当者制による求職者ひとり一人の状況に対応した伴走型の就職支援を実施していきます。

また、求人担当者制や求人事業所の所内説明会、事業所訪問による求職者へアピールできる情報収集を行うなど求人充足支援サービスの充実・強化を図ります。さらに、求人者へは求人充足促進に向けた条件緩和等について積極的に働きかけ、求職者へは積極的な求人情報の提供を行い、能動的な求人・求職のマッチングを推進し、これまで以上のきめ細やかな就職支援サービスの提供に努めます。

②有効求人倍率は直近の2年度連続で1倍を下回っています。このようなことから、令和6年度も「求人の質の向上」を図る取組に併せ、「求人の量の確保」についても積極的に取り組む必要があると考えています。

③求職期間が長期化している求職者については、積極的にハローワーク窓口支援に取り込んでいく必要があります。また、これらの求職者については、就職活動を進めていくうえで、何らかの阻害要因を抱えていることが多いことから、ハローワークにおける求職者ひとり一人の状況に応じた「伴走型」の就職支援の実施が重要となっています。このため、職員・相談員一人ひとりが就職支援プロセス等のキャリアコンサルティング等の専門知識を習得し、マッチングスキルの向上を図ったうえで、能動的な就職支援サービスを迅速かつ的確に実施できるようにする必要があると考えています。

## 2. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	④ハロー ワークの 職業紹介 により、 正社員に 結びつい た就職氷 河期世代 の不安定 就労者・ 無業者の 件数	①生活保 護受給者 等の就職 率						
令和5年度目標	1,409	1,188	492	90.0%	90.0%	66	65.5%						
令和5年度実績	1,350	1,104	463	65.4%	98.1%	130	108.8%						
目標達成率	96%	93%	94%			197%	166%						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。